



みよし市SDGs推進宣言

令和3年3月







目 次

1	SDGsとは	1
2	SDGs推進の目的	2
3	推進宣言の意義	2
4	みよし市SDGs推進宣言	3
5	みよし市の2030年のあるべき姿	4

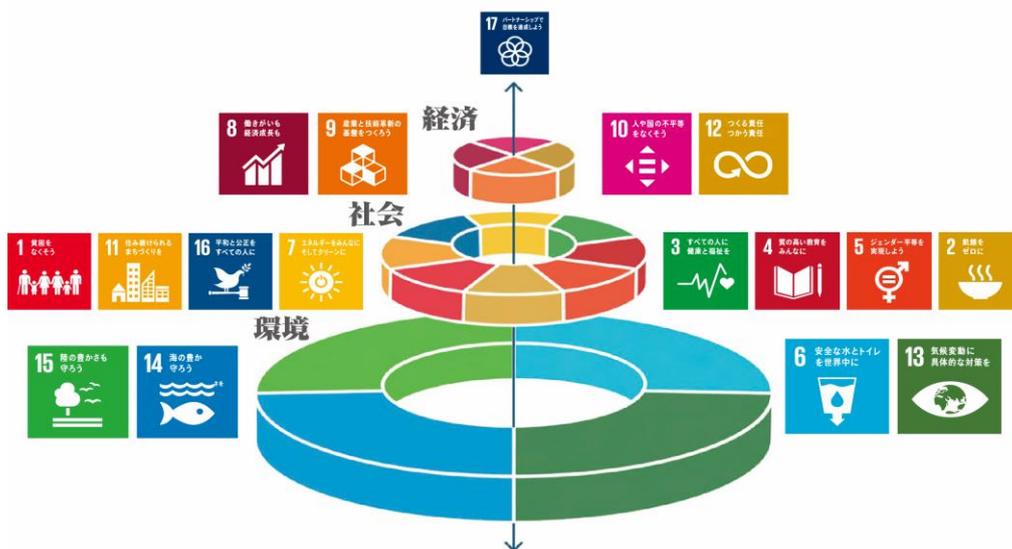
1 SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。



17のゴールは、働き方や生産・消費など経済に関する課題、健康や教育など社会に関する課題、気候や生きものなど環境に関する課題の3つの分野から構成されています。「経済」は「社会」に、「社会」は「環境」に支えられています。そして、パートナーシップは経済・社会・環境にすべてに共通するものです。



2 SDGs 推進の目的

我が国では少子高齢化や人口の東京一極集中が一層進み、本市においても将来的には人口減少が進むことが予想される中、今までのように豊かな社会を維持していくためには、人々が安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくりの推進が必要であります。

本市では、急速な少子高齢化による扶助費や社会保障費などの義務的経費の増加が見込まれ、また、新型コロナウイルス感染症の影響により「新しい生活様式」を取り入れた生活スタイルへの変革が必要となってきました。

SDGs は、理念の柱である「誰一人として取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、経済・社会・環境の三側面にわたる課題に統合的に取り組むものであります。

持続可能なまちづくりに向けた取組を推進するには、SDGs の理念に沿って、多角的に地域課題に取り組むことで、地方創生を図り、人々が今後も暮らし続けられる環境を維持するため、本市としてSDGs を推進していきます。

3 推進宣言の意義

みよし市に関わる一人ひとりが、SDGs について考え、行動につなげていくため「本推進宣言」を策定し、これを市民の皆様や企業、近隣自治体、関係団体などの様々なステークホルダー*と共有することで、持続可能なまちづくりに向けて、オールみよしでSDGs に取り組み、このまちを次世代へしっかりと引き継ぐための方針とします。

*本推進宣言ではSDGs に取り組む全ての機関、組織、市民などの言葉として用いています。

みよし市SDGs推進宣言



わたしたちのまちが住みたい、住み続けたいと思えるまちであるために

- 1、SDGsを推進することで、経済・社会・環境の好循環を生み、市民一人ひとりが「豊かさ」や「安全・安心」を実感できる持続可能なまちを目指します。
- 1、市民や企業、近隣自治体などの様々なステークホルダーと連携することで、地域の豊かさと活力の創出を目指します。
- 1、次世代により良いまちを引き継ぐため、SDGsを「自分ごと」として捉え、一人ひとりが行動できるまちを目指します。

令和3年3月

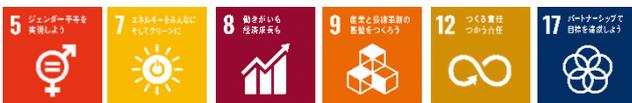
5 みよし市の 2030 年のあるべき姿

SDGs を推進することで、第2次みよし市総合計画の将来像である、「みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち」を目指します。

郷土に対する誇りや愛情を醸成し、このまちをより良い場所にするため、誰もが「住みやすいまち」からずっと「住み続けたいまち」と思える持続的に発展するまちを目指します。

【2030 年のあるべき姿の実現に向けた三側面の取組方針】

経済 Economy



市外からの企業誘致や市内企業の事業拡大支援等により、地域経済の活性化や、雇用が充実する持続可能なまちを目指します。



社会 Social



人口減少や超高齢社会が進む中、市民一人ひとりが健康で生涯を通して活躍できる持続可能なまちを目指します。



環境 Ecology



2019年12月の「ゼロカーボンシティ宣言」実現のため、様々な施策の展開により、2050年までに、二酸化炭素排出量実質ゼロのまちを目指します。

The Mayor of Miyoshi City announced
“Zero CO2 emissions by 2050”



Dec. 4, 2019
Aichi Pref. Miyoshi City

